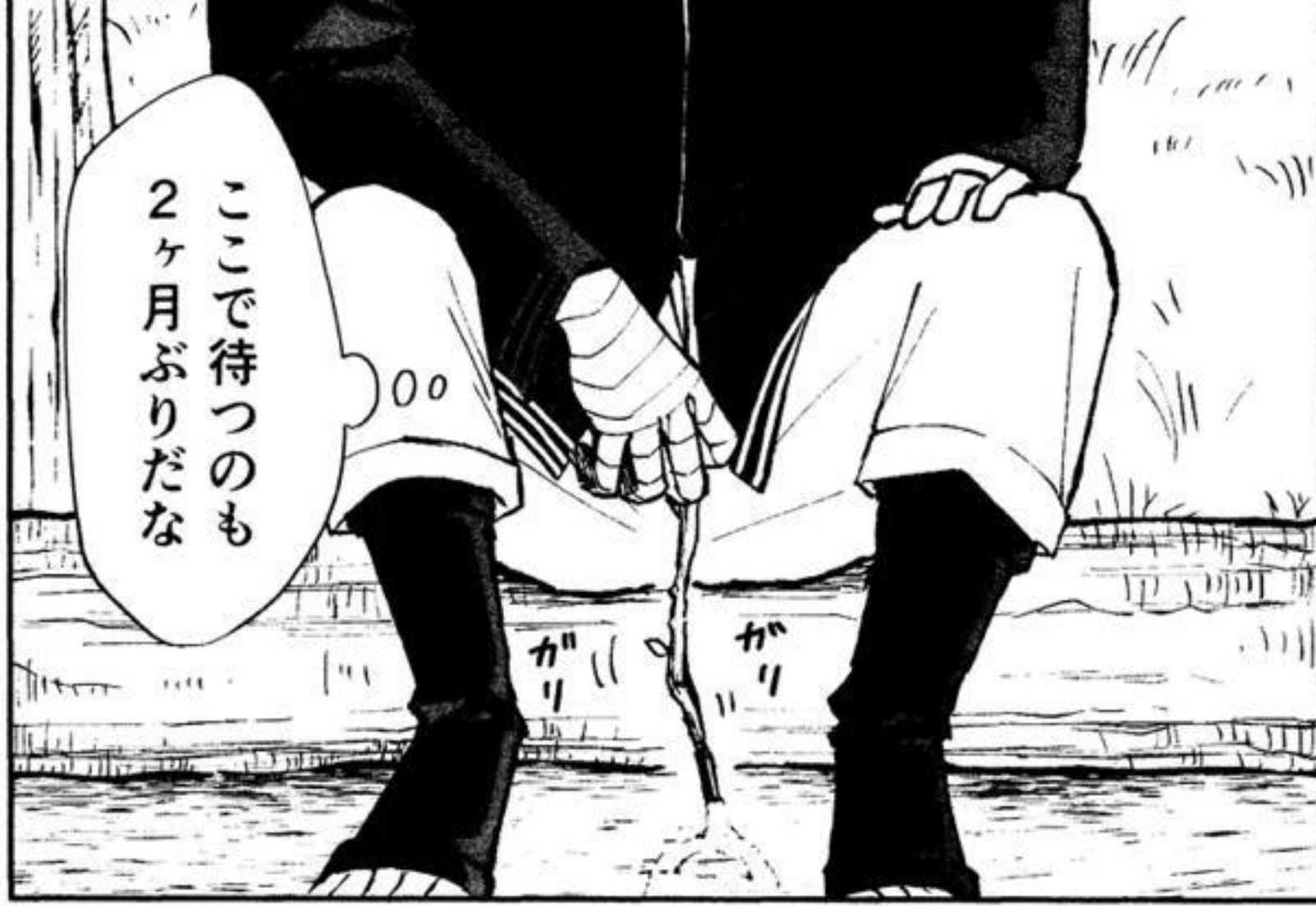


もりの
ゆのな
か
の









サスケ
これ食ってみ
あーん

さっき拾って
美味かった
木の实だぜ



俺は狐で
サスケは狼

種族の違う俺たちは
それぞれ別の場所で
生活している



につが……
まっず……

ナルトお前……

引っかかったー!!
わははすげえ顔!!

つわははは!!
俺も食って
同じ顔したってばよ!



この森には俺とサスケと
他の動物しかいないから
『人間の俺たち』と違って
人目を気にしなくていい



俺は偉い立場の
人間じゃないし
サスケも俺を影で
支える立場でもない

森によくいる
ただの狐と狼だ



いつもこの小屋
使ってたけど
管理人に会ったこと
ねーよな

ここは管理人が
存在しない
避難小屋だ

廃墟みてーな
ボロだから
人間に忘れられてる
んだろ

…そっか



じゃあこの小屋は
2人だけの
愛の巣だな

ここがあるから
俺たちは一緒に
いられる



俺たちはいつも
この山小屋を使っていて

この山小屋しか
使うことができない

この森は自由な
はずなのにここしか
居場所がない

種族が違うから
隠れなきゃいけない

隠さなきゃいけない

人目についちゃいけない

この世には誰が
決めたかも分からない
決まり事が山ほどあって

「世の中はそういうもんだ」
と分かったフリを
する事が大事らしい

疑問を持つことなく
ただ決まりに従って
生き続けるのが
人生ってやつなんだろう？

「ハッ」

俺たちは子供じゃ
ないから
分かってんだぜ

こうやって2人で
毛布に隠れると

この世が俺らだけに
なったみたいで安心する？

……なあサスケ



ふふ



さあな



俺も分かんねーや

何も
分からないまま
俺たちは
生きてる

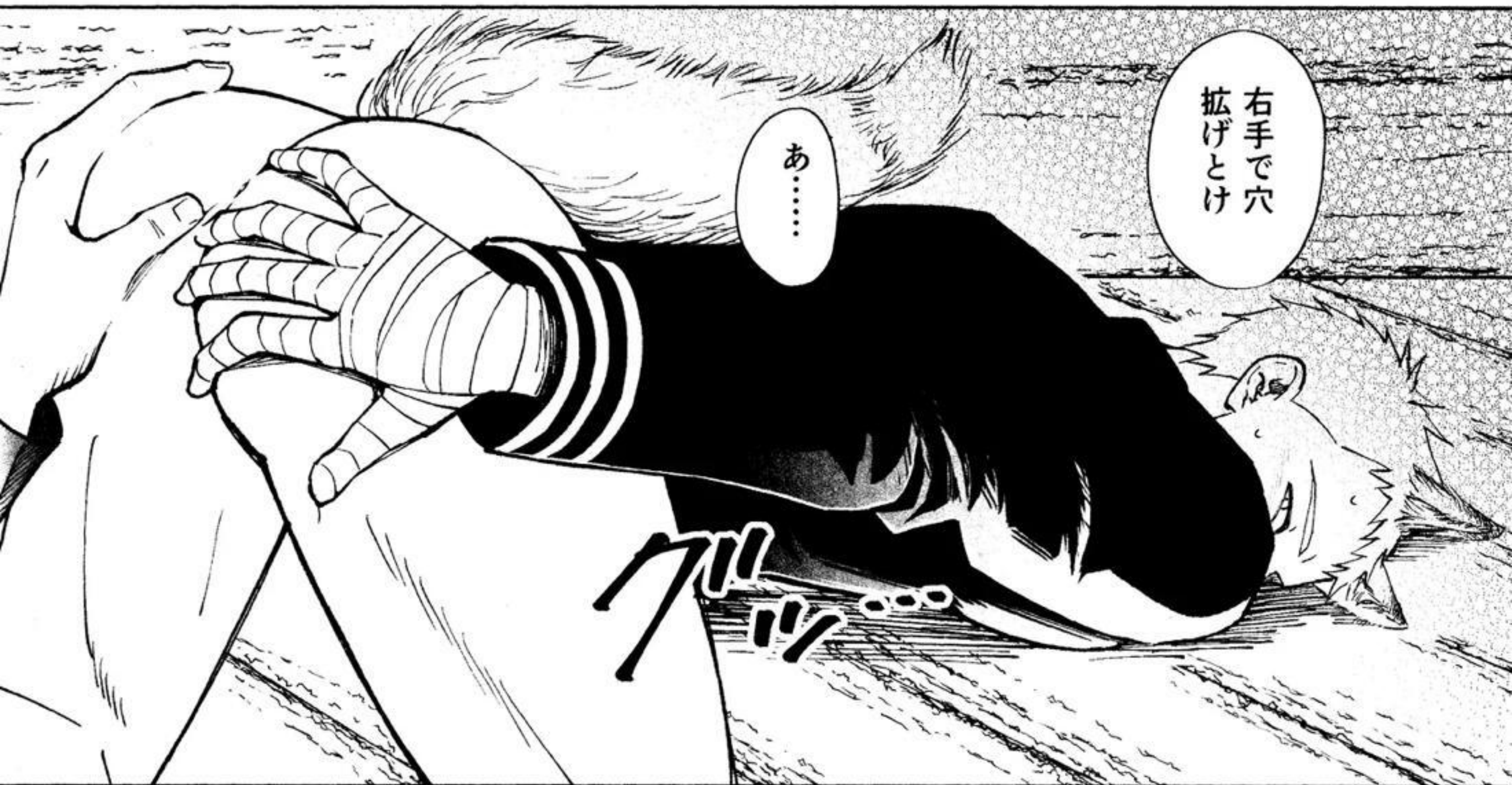


ちゅ
ちゅ

は……

ん……













あつ……

ああつ……！



次は俺たち
いつ会えんだろ

破っちゃいけない
決まり事

狐と狼はつがいになっちゃいけないだってさ

お前とずっと会えないのいつも寂しくてつれーんだ

いつまでも慣れねえ

……なあナルト

お前はいつまで変わらないう事を選択し続ける？

勘違いすんなよ

不自由でいる事を
選んでるのはお前だ

俺はお前のその選択に
従ってるだけだからな

……分かってるってばよ

狐と狼で種類が
違うからなんだ？

汚ねえ山小屋と
この森が世界の
全てじゃねえからな

うん……



お読みいただきありがとうございました！

もりのなかのじゅう

発行日：2021年7月24日
印刷所：サングループ

オリ

twitter : oorieri1998
pixiv : 292255

感想などいただけると嬉しいです！



